



クロツラヘラサギは河口や干潟にやって来ます。

クロツラヘラサギの餌は主に魚です。エビやカニなども食べます。だから餌がたくさん捕れる河口や干潟など、水深の浅い水辺にやって来ます。

みなさんの身近な水辺にもやって来ているかも知れませんね。

絶滅危惧種のクロツラヘラサギは私たちの暮らしのそばにいます。

クロツラヘラサギ Black-faced Spoonbill

クロツラヘラサギは東アジアにのみ生息する絶滅が心配されている鳥で、全世界に約2,700羽(2014年)しか確認されていません。主な繁殖地は朝鮮半島の北西部の海域にある小さな無人島などで、3月頃から6月頃に繁殖し、10月から翌年の5月頃まで、南の日本、台湾、中国、香港、ベトナムなどの地域で越冬します。日本では、主に九州や沖縄の河口や干潟で300羽以上が飛来、越冬し、絶滅危惧1B類(環境省)に挙げられています。

特徴は、名前の由来になっている黒い顔と平たい“ヘラ”のような嘴(くちばし)です。首を左右に振りながら魚などの餌を探すしぐさがとてもユニークです。アジア各国で、熱心な調査、研究が行われており、官民で保全の意識が高まっているアジアのシンボルバードです。



環境省

発行：九州地方環境事務所(那覇事務所) © 環境省2014
〒860-0047 熊本県熊本市西区2丁目10番1号

<http://kyushu.env.go.jp/>

製作協力：日本クロツラヘラサギネットワーク
〒815-0033 福岡県福岡市南区大橋1-4-20-601

写真協力：岡部海都、宮野啓子、山城博明、山城正邦

● 国内の主な生息地



釣り糸をすてないで。

みんなでクロツラヘラサギを守ろう!!



環境省